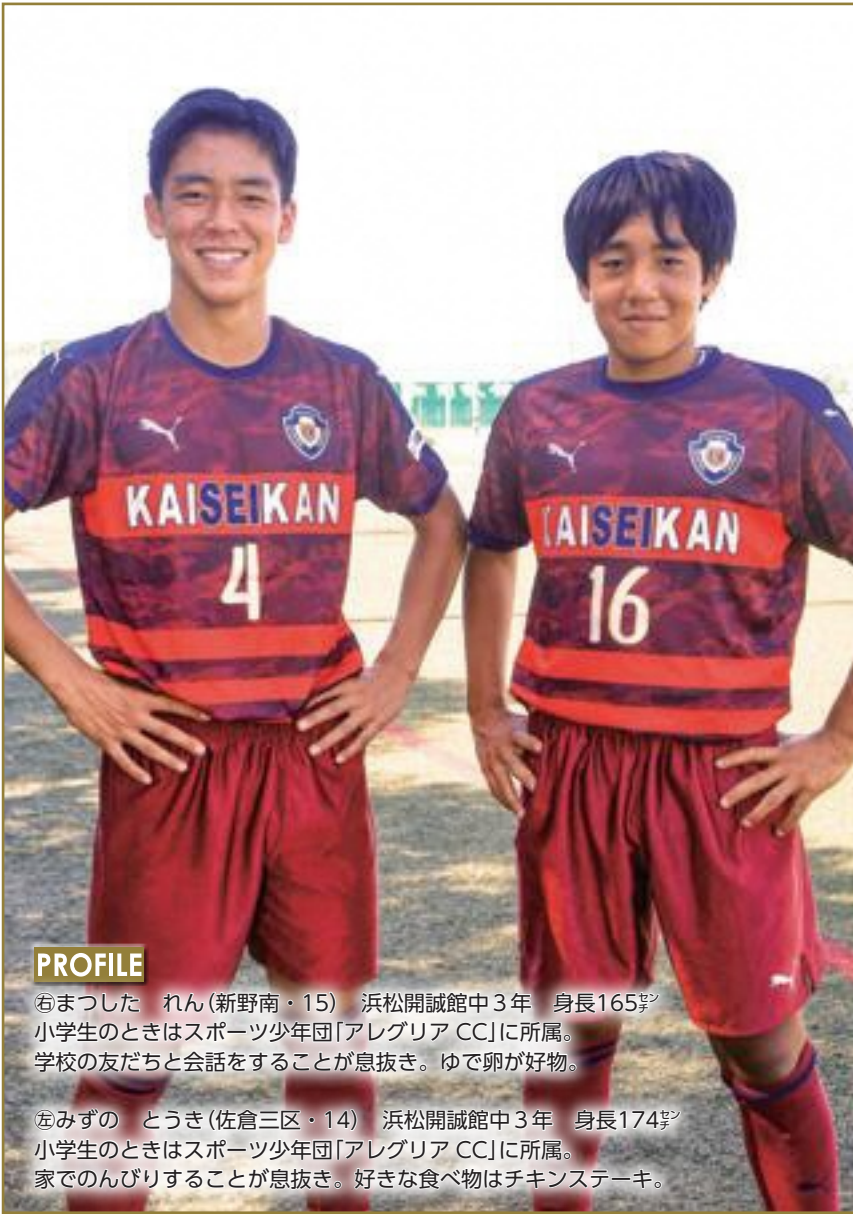




第53回全国中学校サッカー大会で優勝

まつした れん さん 松 蓮 さん

みずの とうき さん 水野 斗葵 さん



PROFILE

④まつした れん(新野南・15) 浜松開誠館中3年 身長165㎝
小学生のときはスポーツ少年団「アレグリア CC」に所属。
学校の友だちと会話することが息抜き。ゆで卵が好物。

⑤みずの とうき(佐倉三区・14) 浜松開誠館中3年 身長174㎝
小学生のときはスポーツ少年団「アレグリア CC」に所属。
家でのおぼろりすることが息抜き。好きな食べ物はチキンステーキ。

8月18日から22日にかけて山形県で開催された第53回全国中学校サッカー大会で浜松開誠館中学校が、大会史上初となる静岡県勢同士の決勝戦で、4-1で静岡学園を破り優勝した。同校としては、2004年のルーテル学院(熊本)との両校優勝以来、2回目の栄光となった。

同チームに所属する1、3年生の約70人のうち、ベンチ入りできるのは18人。その中に市内から通う2人の選手がいた。

1人目の松下蓮さん(新野南)は、小学1年生からサッカーを始めた。成長するにつれてあふれ出る「プロになりたい」という夢を叶えるため、プロ選手を多く輩出する浜松開誠館中へ進学した。

2人目は、水野斗葵さん(佐倉三区)。斗葵さんは、サッカーをやっていた兄の影響もあり、自身も小学1年生から始めた。6年間で少しずつ実力をつけていき、兄の背中を追って浜松開誠館中への進学を決めた。

悲願の全国制覇

「闘う、走る、粘る」をテーマに試合に臨む同チーム。今大会でも、このテーマを忘れることは一瞬たりともなかった。

同チームは県大会、東海大会の決勝で静岡学園と対戦し、1勝1敗の中、全国大会決勝も同カードとなった。チーム内では「この1戦は必ず勝たなくてはいけない。勝ちにこだわろう」と鼓舞し合ったという。

2人は「1年生のころから目標としていた全国制覇。今ではうれしい気持ちでいっぱいですが、試合終了直後は全く実感がありませんでした」と振り返る。さらに、18年ぶりの初の単独優勝を「浜松開誠館の歴史を変えた。後輩にもいい影響を与えられたと思います」と喜びをあらわにする。

さらなる成長を目指して

今後の目標を、蓮さんは「たくさん試合に出場しステップアップして、プロになりたい」、斗葵さんは「高校、大学、プロとサッカーを楽しみながら上を目指していきたい」と熱く語る。

さらに大きな舞台で活躍する2人の姿を見届けたい。